

防護機能の向上、侵食又は堆積

砂浜固有の生息場の確保、利用の増加

- ①防護機能の価値：
越波減少機能を発揮している
堤防等の洗掘防止機能を発揮している

砂浜の防護機能の価値や砂浜の持続性・背後地の評価

- 砂浜の持続性に関して、以下の観点から評価
 - ・地先と漂砂系・流砂系全体（空間スケール）
 - ・過去～現状と将来推計（時間スケール）
 - ・沿岸漂砂量、土砂収支、土砂量
 - ・砂浜侵食の程度・速度
 - ・背後地の重要度 など

①防護に関する機能、要求性能

砂浜の環境・利用価値の評価

- ②環境機能の価値：
砂浜特有の生物の生息・利用
- ③利用機能の価値：
海水浴やサーフィン、釣りなどのレジャーや、地元住民による日常利用が盛ん など

②環境に関する機能、要求性能
③利用に関する機能、要求性能

砂浜に求められる機能及び要求性能の設定

砂浜の管理指標の設定

①～③ → 汀線位置
砂浜全体の土砂収支等

②～③ → 利用可能な砂浜面積、
海浜植生の生育面積等

必要に応じて検討

・砂浜の類型化

- ・海岸保全区域のあり方
- ・海岸保全施設の指定方法

- ・海岸保全区域の指定にあたっては、①～③を踏まえて考え方を整理
- ・海岸保全施設指定にあたっては、①を踏まえて考え方を整理

海岸保全基本計画の確認又は見直し 海岸保全区域の確認又は見直し 砂浜の海岸保全施設としての指定

侵食対策事業・海岸環境整備事業の確認又は見直し、 新規導入・実施

海岸保全計画の手引き（H5）

費用便益分析

海岸事業の費用便益分析指針（改訂版）（H16.6）

- ・砂浜の評価方法
- ・インセンティブの付与

（流域・沿岸域に係る外部要因）
土砂収支に係る外部要因

自然共生型海岸づくりの進め方（H15）

海岸景観形成ガイドライン（H18.1）

持続可能なモニタリングの仕組みの構築

・モニタリングの精度、頻度、調査内容

- ・動的管理にあたって許容限度の設定
- ・項目（多 ↔ 少）、頻度（高 ↔ 低）、精度（高 ↔ 低）、範囲（広 ↔ 狭）

①地形測量、深淺測量、汀線測量（UAV、SAR等の活用）

河川砂防技術基準調査編（H24）

管理水準の設定及びそれに 応じたモニタリング項目、精度、頻度、範囲

モニタリング体制の確認・構築

- 多様主体による取組継続性の担保
- ・ボランティア
- ・PPP/PFI
- ・大学連携

海岸協団体指定準則（H26.8）

モニタリング手法の設定

- ②自然環境調査（海辺の生物国勢調査等）
- ③利用調査

モニタリングの実施

海辺の生物国勢調査マニュアル（案）（H15.3）

モニタリングデータのストック・見える化

- ・多様な主体によるモニタリングデータの一元管理
- ・データの見える化、情報共有

砂浜管理の技術の開発

浜崖後退抑止工の性能照査・施工・管理マニュアル（H25.6）
人工リーフの設計の手引き（H29.6）

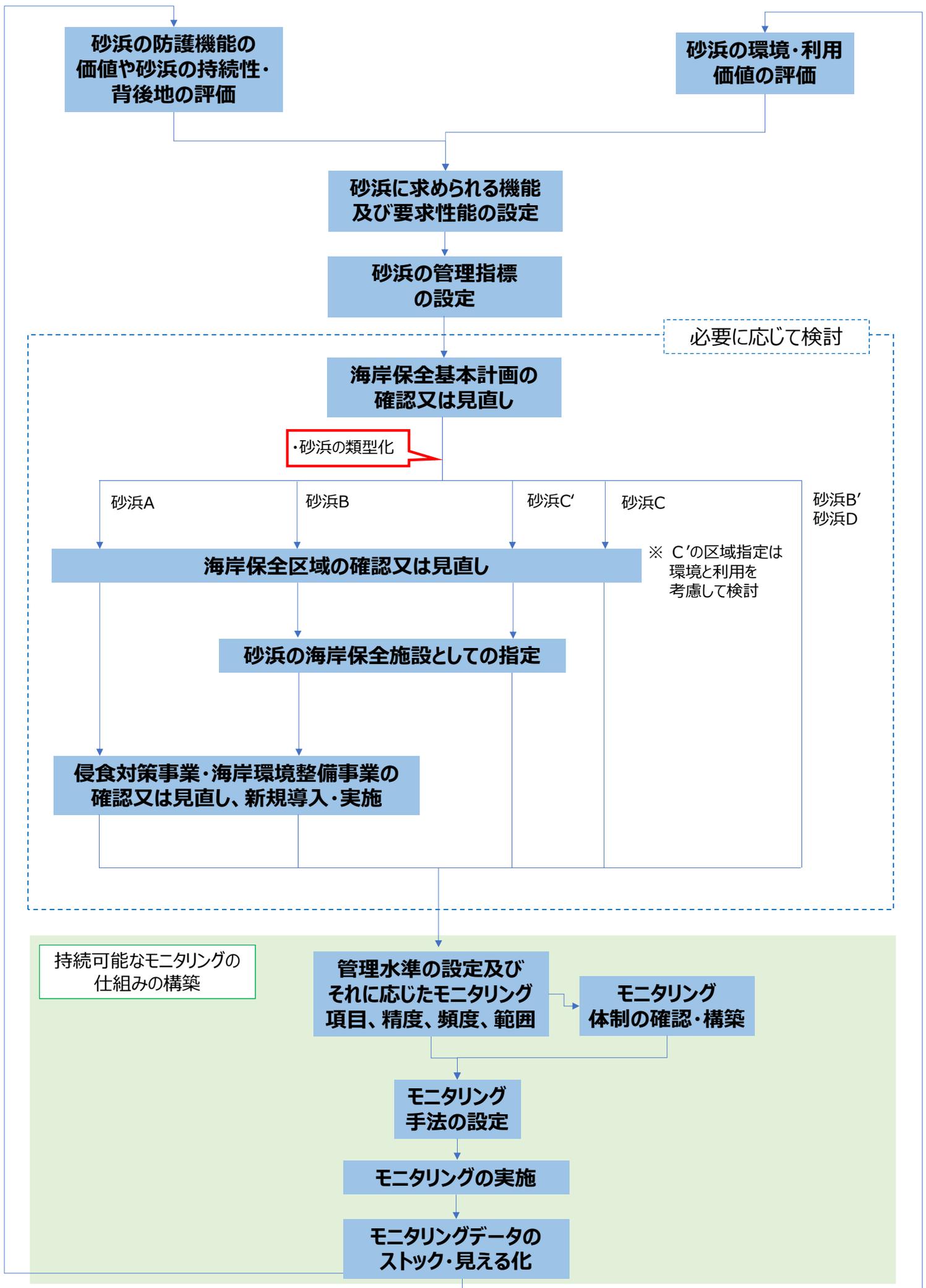
- ・侵食対策技術（施設、養浜）
- ・砂浜モニタリング技術
- ・砂浜地形変化の予測技術

P (A)

D

C

砂浜管理に関する検討フロー（案）



P (A)

D

C